

管内証券会社(21社)の平成28年3月期決算の概要【速報集計値】

管内証券会社 21 社

減収（営業収益▲12%）・減益（当期純損益▲43%）

（前年同期比）

- 営業収益は、83億円減少の577億円（▲12.7%）
前年同期と比べ、株券委託売買高が減少したことから、株券委託手数料等の受入手数料が減少。また、不安定な市況等により、トレーディング損益が減少。
- 販売費・一般管理費は、8億円減少の516億円（▲1.6%）
収益減少に伴う人件費が減少。
- 経常損益は、70億円減少の63億円（▲52.6%）
- 特別利益は、4億円減少の37億円（▲9.7%）
- 特別損失は、4億円減少の2億円（▲60.3%）
- 当期純損益は、58億円減少の76億円（▲43.1%）
（管内証券会社（21社）の黒字会社は、19社から15社へ減少）

（単位：億円）

	26年3月期	27年3月期	28年3月期	前年同期比	増減率
営業収益	692	661	577	▲83	▲12.7%
受入手数料	511	476	430	▲45	▲9.6%
うち株券委託手数料	331	261	237	▲23	▲9.2%
うち受益証券関連手数料	153	182	142	▲40	▲22.0%
トレーディング損益	124	127	91	▲36	▲28.4%
うち株券等トレーディング損益	49	55	33	▲22	▲40.4%
うち債券等トレーディング損益	73	70	58	▲12	▲17.6%
金融収益	55	56	54	▲1	▲3.3%
販売費・一般管理費（▲）	514	524	516	▲8	▲1.6%
営業損益	166	125	50	▲74	▲59.8%
経常損益	177	134	63	▲70	▲52.6%
特別利益	108	41	37	▲4	▲9.7%
特別損失	10	7	2	▲4	▲60.3%
当期純損益	234	134	76	▲58	▲43.1%

※ 期毎に社数の変動があるため、26年3月期及び27年3月期の計数については、28年3月期の21社ベースで比較しています。その結果、これまでに当局が公表した計数とは異なる場合があります。

管内証券会社の平成28年3月期 決算の概要 (参考資料)

平成28年6月23日
近畿財務局



近畿財務局管内に本店を置く証券会社(21社)の平成28年3月期決算について、とりまとめを行いましたので公表します。

管内の証券会社(各府県別、金融商品取引業登録番号順)

【大阪府内】

永和証券、エース証券、岡安証券、プレジアン証券、光世証券、岩井コスモ証券、高木証券、内藤証券、日の出証券、ひびき証券、広田証券、池田泉州TT証券

【京都府内】

西村証券、丸近証券、都証券、六和証券

【兵庫県内】

相生証券、篠山証券、播陽証券、光証券

【奈良県内】

奈良証券

※各計数は、当局調査に基づく暫定の計数(単体ベース)を集計したものであり、今後変動する可能性があります。

なお、期毎に社数の変動があるため、26年3月期及び27年3月期の計数については、28年3月期の21社ベースで比較しています。その結果、これまでに当局が公表した計数とは異なる場合があります。

※億円未満を切捨てで表示しておりますので、計数は必ずしも一致しません。

※「全国」の計数は、全国の証券会社のうち金融庁長官の指定する証券会社(大手・外国証券等)以外の証券会社の集計値です。

(営業収益の項目説明)

※株券委託手数料:株券の委託売買に係る手数料

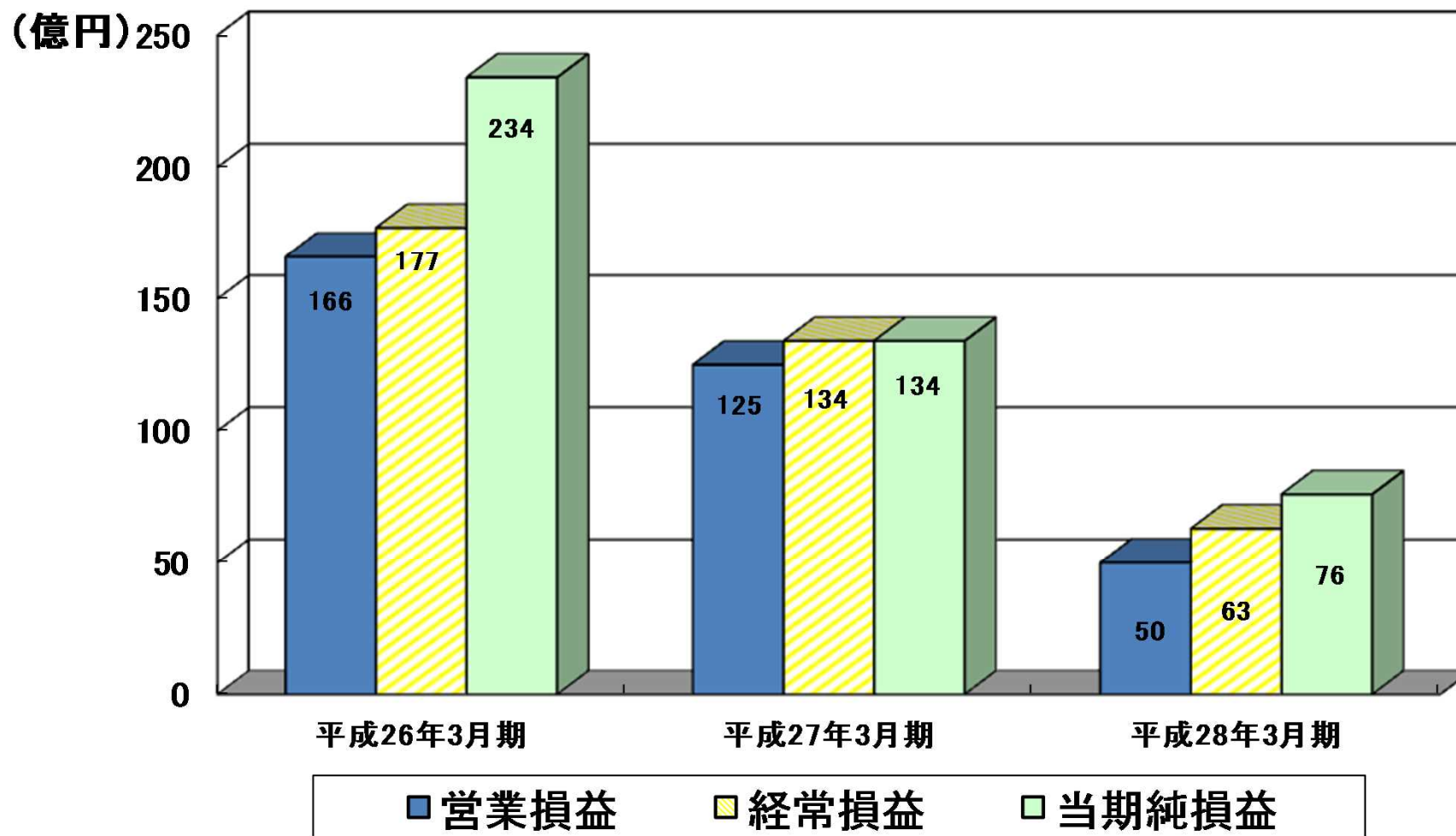
※受益証券関連手数料:投資信託の募集等に係る取扱手数料及び信託報酬

※トレーディング損益:自己の計算により売買した有価証券等の取引損益

※金融収益:信用取引収益(自己融資の受取利息及び品貸料)、受取配当金・受取債券利子等

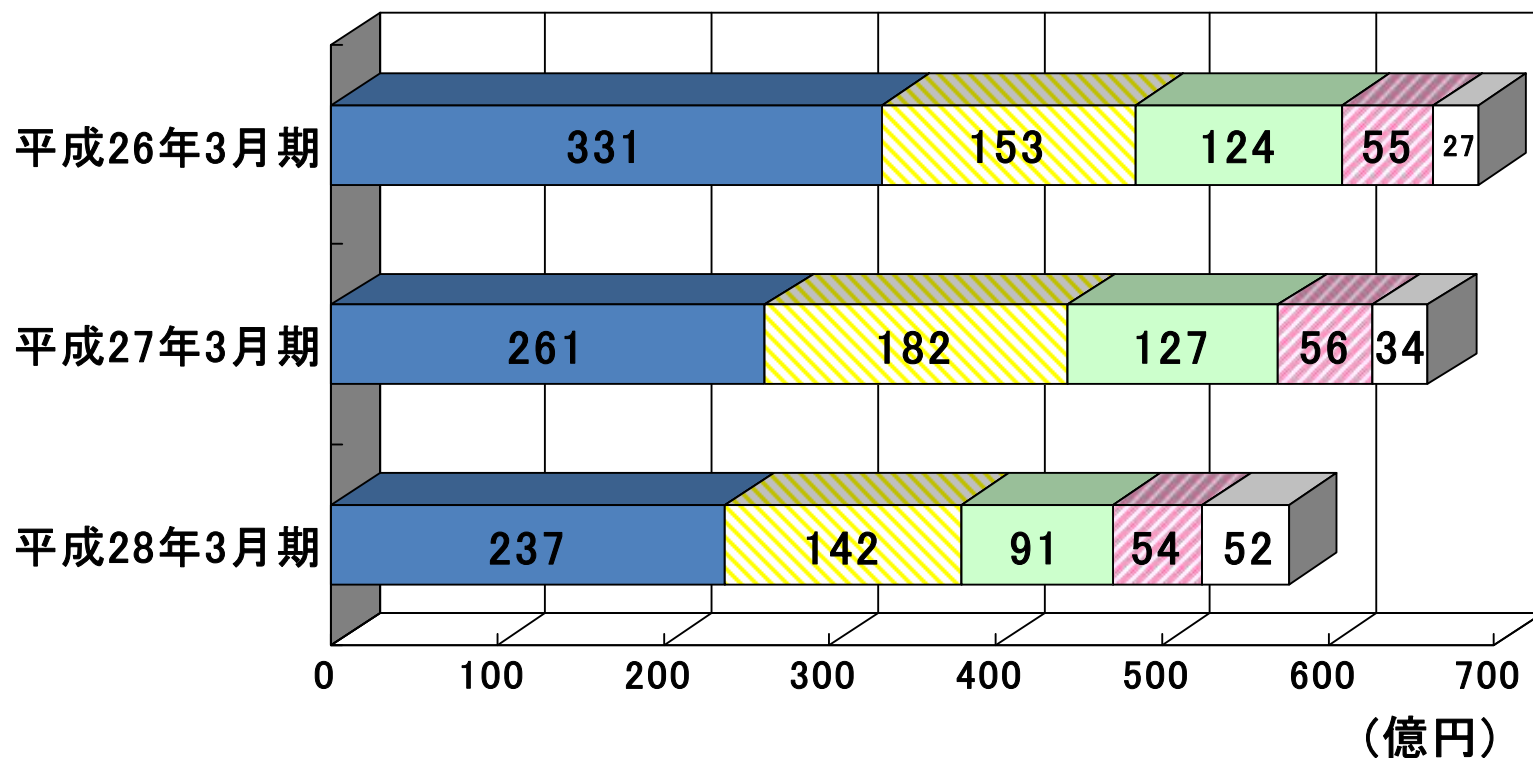


営業損益、経常損益及び当期純損益の状況



営業収益の状況

営業収益内訳金額の推移

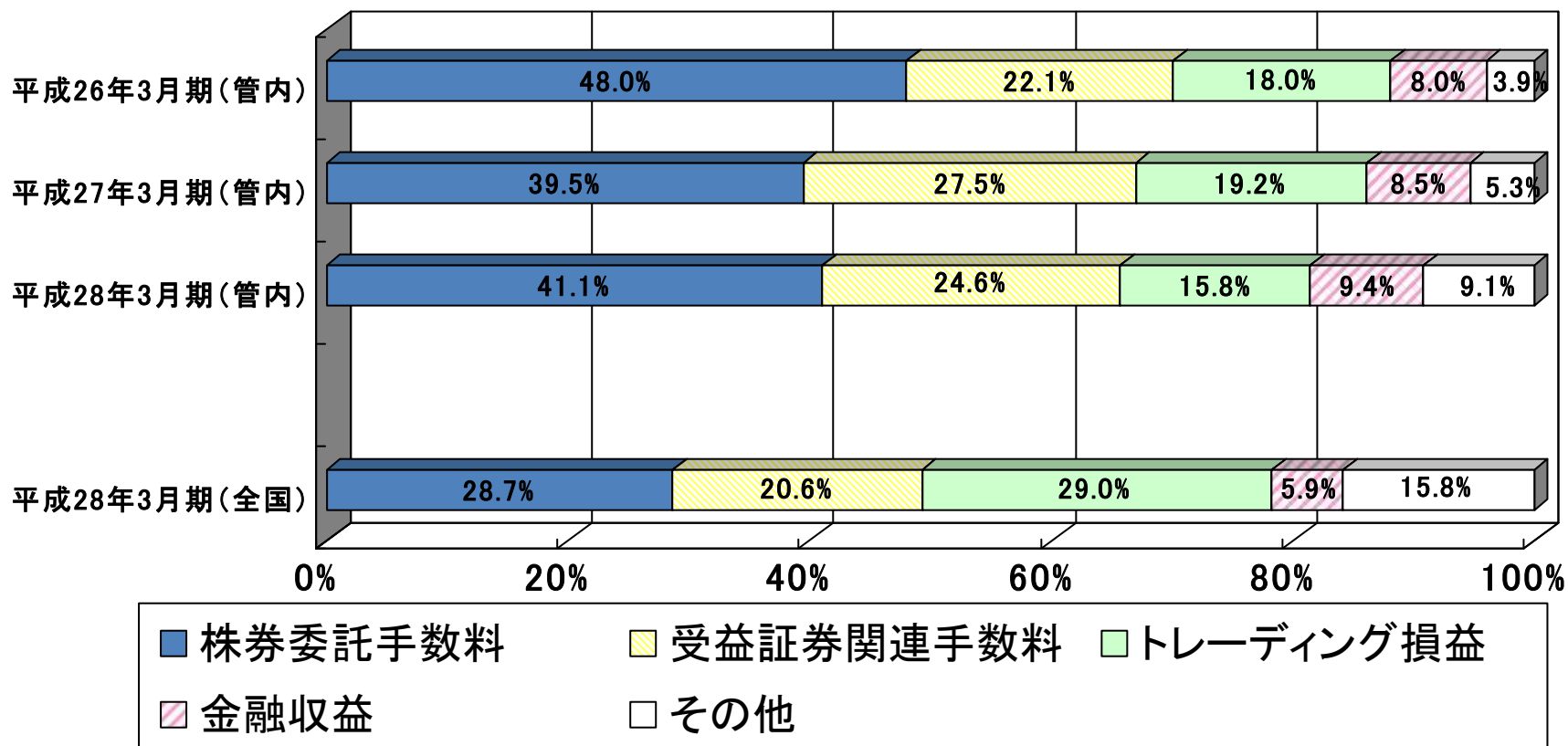


■ 株券委託手数料 ■ 受益証券関連手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 □ その他



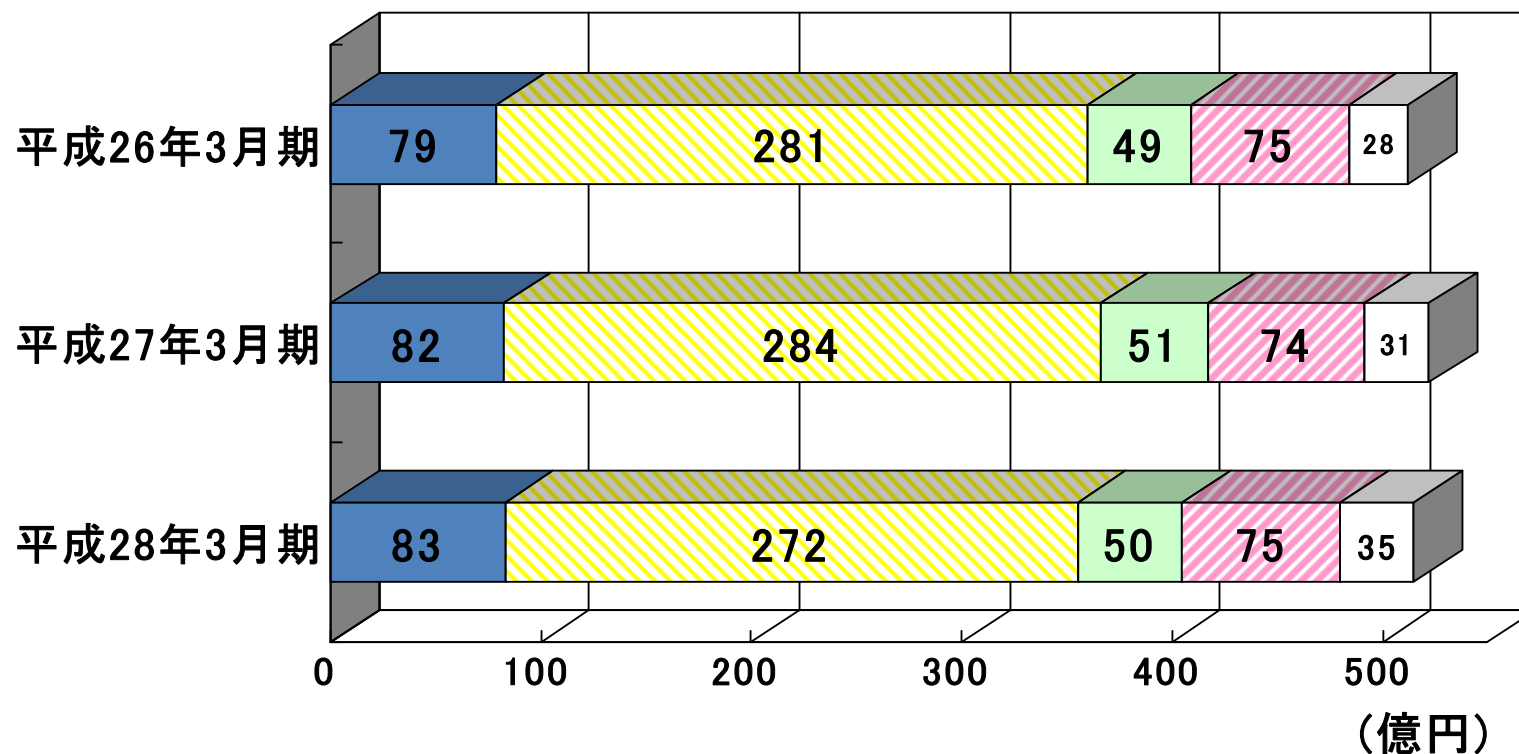
営業収益の構成状況

営業収益の構成割合の推移



販売費及び一般管理費の状況

販売費及び一般管理費内訳金額の推移



■ 取引関係費 ■ 人件費 ■ 不動産関係費 ■ 事務費 □ その他

